

	部会	活動内容	活動開始時期	頻度
《実行委員会 部会》				
①	派遣部会	福岡のこども達（小4～高3まで）が春休みにアジア太平洋の国・地域を訪問し、ホームステイや学校登校を体験する「ミッションプロジェクト」で、参加者対象の事前研修会・宿泊研修会・報告会を企画・運営します。団長・副団長として同行することも可能です。（大学生以上旅費は一部参加者負担）10月以降、引率者の募集がスタートします。第21回では韓国、シンガポール、インドネシア、ブルネイ、パラオ、モルディブ、カンボジアの計7カ国に派遣予定です。	主な活動期間は 2008年10月～ 2009年4月下旬	・月に1～2回の部会 （主に平日の18：30以降） ・5～6回のこども達向け 事前研修会（土日の昼間） ・3月上旬頃宿泊研修会予定 （1泊2日）
②	交流キャンプ部会	入国したこども大使が体調を整えると共に、APCCの意義やホームステイに関する研修を受けたり、日本を含めた各国のこども大使達と交流をする「交流キャンプ」を担当する部会です。キャンプで実施するプログラムの企画・運営から、キャンプ中のこども大使の生活・交流のサポートを行います。またキャンプに参加する日本のこども大使の研修も行います。昨年は部会メンバーが部屋別・ガイダンス・食事・入浴・宿泊・レクレーション・運動会・交流会・退館式・本部といった担当に分かれ、事前の準備から本番・撤収作業までを行ないました。担当業務上、数多くのボランティアさんを必要とする部会です。	2009年3月末に 部会メンバーにアンケート を送付 その後担当を決め、 随時活動を開始	・部会（6月位まで月1回） ・担当別ミーティング （6月位まで月1～2回） ・6月下旬～7月のキャンプ 期間中（7月9～14日）が 最も多忙
③	ホームステイ部会	7月の招聘事業期間中にこども大使をご家庭に受け入れてくれるホストファミリーをサポートする部会です。ホームステイ関連の資料作りや発送、ホストファミリー対象の各勉強会・説明会の運営（4月～7月 月1回程度）等を行います。約400家庭のホストファミリーと直接接する機会が多くあります。他部会との掛け持ちもしやすい部会です。	2008年10月～	・基本的に月1回の部会 （主に平日の昼間） 4月～7月にかけては開催 回数が増えます。
④	医療サポート部会	7月の招聘事業期間中、こども大使の健康管理を担当する部会です。参加者の医療診断書の事前チェックや、キャンプ・イベント会場でのけが人・病人のケアや手当てを行います（※医師・看護師・看護資格保持者に限る）。併せて期間中の医療通訳（※医療資格必要なし）、病院への車搬送スタッフ（※ペーパードライバー除く 医療資格必要なし）も募集しています。	2009年3月～	・3月～本番までに2～3回 の部会を開催
⑤	ボランティアサポート部会 *昨年度のボランティア とウェルカムが併合	（1）ボランティア・部会間の交流の場の提供と、（2）招聘事業で来福する参加者歓迎手法の企画と出入国補助の2つを担当します。 （1）ボランティア・部会間の交流の場の提供 年間を通じて、どんたくパレードへの参加や各種交流会など、楽しいイベントを企画・実施します。また、新規ボランティア登録者を対象とした説明会では、APCCの事業内容や雰囲気をつかりやすく紹介できるような企画を練り、会を運営します。 （2）招聘事業で来福する参加者歓迎手法・出入国補助 ボランティア同士の交流を深めることを兼ね、海外からの参加者を心温かく歓迎する手法を考えます。また福岡空港にて参加者の入国手続き補助、誘導を行います。	2008年10月～	・月1～2回の部会 （主に夕方18:30～） ・ボランティア登録説明会 （月2回程度：平日夕方、 または土日・祝日の午後）
⑥	イベント部会	7月の招聘事業期間中に、こども大使と福岡市民の方々が触れ合えるイベントを企画・運営します。アイデアを出し合ってプログラムの内容や会場のレイアウトを決めたり、当日の運営をサポートしてくれるボランティアメンバーの研修を担当したりします。イベント本番では運営スタッフとして中心的な役割を担います。	2009年2月～	・基本的に月1回の部会 招聘事業が近くなると開催 回数が増えます。

⑦	シャペロンサポート 部会 *昨年度の教育交流 部会での取り組みはここ に入ります。	7月の招聘事業期間中に、アジア太平洋各国から来福するシャペロン（こども大使の引率者）が参加する各種交流プログラムを企画・運営します。また、こども達の交流を促進するためにシャペロンの技能を活かしたプログラムの企画・運営を行います。	2008年10月～	・基本的に月1回の部会 招聘事業が近くなると開催 回数が増えます。
⑧	ファン拡大部会 *昨年度のファン拡大 とネットワークが併合	APCCのPR活動（テレビ・ラジオ出演、雑誌投稿、街頭PR等）から、オリジナルグッズ（Tシャツやステッカー、エコバッグ等）の販売まで、様々なチャリティキャンペーン活動を行います。また、APCC事業の模様を取材し、ホームページへのアップ、ニュースレターやメールマガジンの発行など、APCCファンを拡大するための情報発信も行います。	2008年10月～	・基本的に月1回の部会 ・チャリティキャンペーン活 動は主に休日を実施
★	SOS	必要に応じてAPCC事務局での発送作業のお手伝いや、各イベントの直前準備・当日運営の手伝いなど、単発的なボランティア活動を担当します。自分の出来る範囲・時間内で活動していただけますので、APCCボランティアさん全員に登録していただきたい「SOS“スポットボランティア”」です。	2008年10月～	・随時メールにて活動依頼
★	通訳・翻訳	通訳：各種プログラム・イベント実施における通訳 翻訳：こども大使とホストファミリー間の手紙の翻訳から、ニュースレター・各種報告集・ホームページの翻訳など、必要に応じて活動を依頼させていただきます。英語が主ですが、それ以外の言語を得意とされる方も大歓迎です。遠方の方でもE-mailやFAXを通じて活動できます。	年間を通じて	・随時メールにて活動依頼

《事業部》※再登録ボランティアのみ対象

●	ブリッジクラブ ジャパン（BCJ） ※昨年度ジュニアメッセ ンジャーを希望する方はこ ちら	海外のブリッジクラブ（BC）との連携を強化しながら、ブリッジクラブジャパン（BCJ）としての独自の活動に取り組みます。具体的な内容としては、APCC各種事業に参加する日本のこども大使育成事業のサポート、こども会議経験者である中学生ボランティアの育成（昨年度のジュニアメッセンジャー）を目指したプログラムの実施等があります。	年間を通じて	・基本的に月1回の会議
●	育成事業	APCCの各種事業（ミッションプロジェクト、交流キャンプ、ホストフレンド）を経験することにより、国際社会に向かって日本人としての自分を語れる、日本のこども大使達（APCCウイング・キッズ）を育成すべく、第21回から新たに立ち上がった事業です。実行委員会の各部会、および外部の団体と連携を取りながら、内容の豊富な育成プログラムの企画・運営のサポートをしていただきます。	年間を通じて	・随時メールにて活動依頼
●	ブリッジクラブ 国際組織（BCIO） 本部ボランティア	APCC20周年、ブリッジクラブ（BC）10周年を機に、2008年に設立されたブリッジクラブ国際組織（BCIO）。下記の役割を担うこのBCIO本部のお手伝いをしていただきます。 ・各国BCの強化と、未設立国への設立支援 ・BCに関する情報管理と情報発信 ・各国BC間の交流プログラム支援 ・BC共通目標に向けての共同事業の実施 ・7月の招聘期間中に行われるピース大使関連プログラムや活動の企画・運営 やり取りを行うのは過去のこども大使。年齢は学生から社会人までと幅広く、 ある程度の英語力が必須 となります。こども会議への熱い想いを持った、行動力のあるアジア太平洋の若者達と頻繁なやり取りがあります。 ※活動内容、活動時期が他と異なるため、一度詳しく説明をさせていただき、内容にご納得をいただいた上での登録となります。少しでも興味のある方がいらっしゃいましたら、再登録用紙のBCIOの欄に○をお付け下さい。後日こちらからご連絡させていただきます。	年間を通じて	・基本的に月2回の会議 ・招聘事業が近くなると開催 回数が増えます。